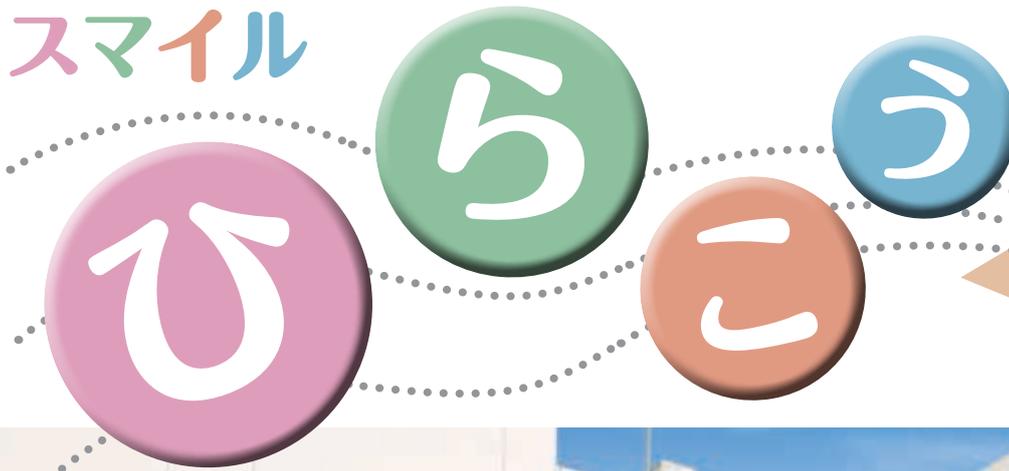


スマイル



救急車搬入出入口北側に設置された、空調完備の発熱外来専用待合室と診察室

特集

泌尿器科特集

放射線技師から⑨／外来からのお知らせ／認定看護師通信 vol.42

泌尿器科特集

日頃は当科にご紹介いただき誠にありがとうございます。

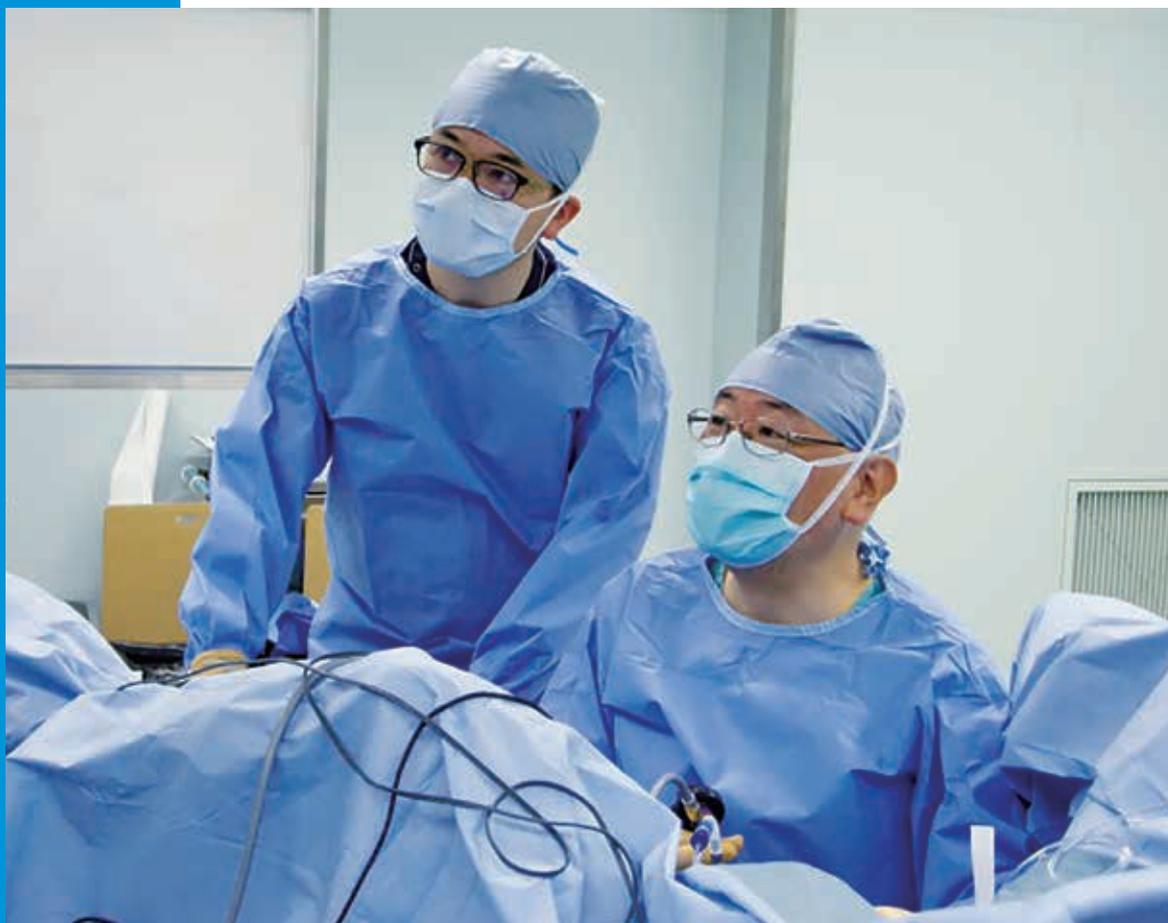
当院泌尿器科には今年4月から新しく岡所先生が赴任し、複数常勤医での体制となりました。一般的な泌尿器科疾患に関して対応しており、随時紹介受診していただいております。昨年度まで連携予約の際に当科の空き枠に余裕が無く、近隣の先生方にご不便をおかけすることもありましたが、少しは改善できるのではないかと考えております。

排尿困難に対する評価と治療導入は今までと同様に行っておりますが、当院での尿流量率測定装置が稼働して数年になり、評価をより客観的な指標で行うことができました。

検診でのPSA高値としてご紹介していただくこともここ8年のうちに増えました。これらの方のうち前立腺生検実施に至るのが年間約60例にのぼります。診断された前立腺癌の性状や当院で画像診断をおこない、得られました診断結果を踏まえご相談いたします。

患者さん本人の希望や状況をよくお聞きした上で治療の方法を決めることとしております。

限局癌に対してはおおむね75歳を超えない方では手術治療を行っていますが、昨今のロボット支援（ダヴィンチ）手術と放射線治療施行は近隣の施設や患者様の希望に添う施設への紹介もおこないます。進行期の前立腺癌に対す



る治療としてはシークエンシャルに内分泌療法や化学療法を適用し施行しております。

血尿で受診していただく方では膀胱癌をはじめとする尿路上皮癌の診断に至ることもあります。経尿道的手術は50例以上／年になりますが、開腹手術や腹腔鏡手術も行っております。浸潤癌に対しての膀胱全摘除術は回腸導管による尿路変向術で対応しております。ストーマ外来が開設されておりますので術後のケアについてもサポートが行えるようになりました。さらに外来化学療法部で抗癌剤の投与、オプジーボ等の新規の抗腫瘍薬に関しましても適応に基づいて尿路上皮癌治療を行っております。

腎癌（超音波検査で引っかかる方が多くなっております）などその他の泌尿器科腫瘍手術や、TUEBによる前立腺肥大手術、尿路結石に対してのTULと

PNLでの対応も行っております。スタッフの増員によりERからの症例の受け入れの増加や手術対応がよりスムーズになると見込まれておりますのでこれからもよろしく願いいたします。



泌尿器科 部長
東 新

4月から枚方公済病院に着任しました泌尿器科の岡所(おかしょ)と申します。これまでは京都大学、和歌山日赤、天理よろず、公立豊岡といった病院で勤め、その中で腹腔鏡やロボットによる癌手術、結石や前立腺肥大症などの良性疾患手術、さらに女性泌尿器疾患や泌尿器救急疾患など幅広く治療して参りました。もちろん一般的な



排尿に関する問題もよろこんで診させていただきます。泌尿器科患者の多くは様々な既往を抱えてかかりつけ医をもたれている高齢者であり、診療をしていく上で近隣の先生方との連携は不可欠だと考えております。血尿、膀胱炎、排尿のちょっとした悩みでも結構ですので気軽にご相談いただければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



泌尿器科
岡所 広祐

新任医師紹介

5月18日付けで枚方公済病院整形外科に赴任致しました小川(こがわ)亮三と申します。前任施設(医仁会武田総合病院)では、外傷を中心とした整形一般手術、膝や股関節などの変性疾患に対して人工関節、また関節リウマチや骨粗鬆症などの治療を行ってきました。どのような治療で

あっても、単独でできうる者ではなく、周りの協力無しには成し得ないと考えています。他科医師やスタッフと総合的な加療を行っている所存です。

これらは近隣の先生方やメディカルの皆様の協力なくしては成り立ちません。協力し合って継ぎ目のない医療を心掛けていこう

と考えています。今後ともいろいろとお世話になりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。



整形外科
小川 亮三

新型コロナウイルス (COVID-19)

大阪では終息してきている感がありますが、まだまだ連日報道でもとりあげられる様に世間を騒がせています。依然これといった治療薬もワクチンもないことが原因でもあります。感染していても無症状であるにもかかわらず感染力はあるなど非常に厄介なものようです。

綿棒を鼻に挿入し、奥の鼻粘膜から採取した検体を検査する（最近では唾液からも可能であるようですが）PCR法などで陽性、陰性の判断をするしかないというところも厄介さの要因ではないかと思えます。検体検査に加えて胸部レントゲン、胸部CT画像による診断も有効であるとのことで当院でも胸部CT検査が多くなっています。来院、入館されるときに問診、検温など（現在は検温のみ）で振り分けなにか問題があると発熱外来にまわってもらっています。そこで必要な方には胸部レントゲンやCT撮影が実施されます。

画像診断は医師の役割なので触れませんが、われわれ診療放射線技師はこれらの依頼に対し可能な限り迅速に検査を遂行すること、感染を拡大させないことに注意をはらっています。そのために撮影の際には院内で定めた感染リスクのランク化に応じ、サージカルマスク、ゴーグル、キャップ、エプロン、手袋、場合によりN95マスクを装着し対応



キャノンメディカル社製 80列CT装置



に当たっているためお待ちの患者さんにはたいそうに映っているかもしれません。また検査後はいつも以上に次亜塩素酸ナトリウムでの清拭、十分な換気をおこなっているため予約の患者さんにお待ちいただくこともしばしばですが、感染防止のためご理解、ご協力いただいている次第であります。当面このような対応が続くと思われますのでお手数、ご迷惑をおかけいたしますが、ご容赦いただけますようお願い申し上げます。



放射線科 主任
加藤 丈佳



COVID-19陽性 画像例1



COVID-19陽性 画像例2



COVID-19陽性 画像例3

外来からのお知らせ

当院の外来は総合内科、循環器内科、外科、心臓外科、整形外科、耳鼻科、眼科、歯科口腔外科、泌尿器科、小児科、皮膚科など16の診療科があります。また医師の診察だけでなく、看護外来としても糖尿病教室、禁煙外来、心不全指導、ストッキング外来があり外来の看護師が患者さんに指導を行っています。

糖尿病教室では、フットケアを実際に行いながらケアの方法や観察の方法など生活全般の指導を患者さまのQOLに合わせてマンツーマンで行っています。

弾性ストッキングの指導は医師の依頼を受けて深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、下腿リンパ浮腫などの患者を対象に弾性ストッキングの計測・ストッキングの選択・履き方指導・経過観察を行っています。

心不全の2次予防としてレインボー手帳(虹呼ぼう)の活用方法を指導し、病院・診療所間の病-診連携を図って患者さまの治療、病状など情報共有に役立てています。



COVID-19の感染対策



外来の風景

禁煙外来は、今年度は未曾有の災害としてCOVID-19が問題視されている中、感染に対しての不安から、禁煙意識が高く受診される患者さまが増加しています。このように外来看護師も専門性を高め、日々患者指導に取り組んでいます。

外来スタッフは常勤・非常勤に関係なく1つの診察室に固定した人員配置ではなく1人の看護師が複数の診察につけるようにローテーション化し、それぞれが自己研鑽につとめながら日々業務に励んでいます。また、子育て中のママさん看護師も多く、お互いに助け合いながら、働きやすい職場づくりを心がけています。私たち外来看護師は常に患者さまを温かく迎え、日々安心して医療を受けられるようにお手伝いをするとともに、人を大切にする看護の提供を心がけています。

外来看護師長 松本 真弓





活動報告

交野市や枚方市など近隣の地域に出向き、「認知症種類別の特徴と関わり方のポイント」「今日から始めよう認知症予防」など市民講座を行ってきました。127名ものたくさんの方々に参加していただき、「最近物忘れが増え、認知症かもと不安に思っている」「被害妄想や徘徊など介護方法に悩んでいる」「怒りっぽい。ケアも拒否され、どう関わって良いかわからない」「きちんと出来ないのに、自分でしたがり、余計手間がかかり大変」「デイサービスを利用して欲しいが、本人が嫌がり行ってくれない」等々、悩みを抱えてお

られる方々がたくさんおられ、そして**どこに相談に行けば良いのかわからず困っておられる**ことを知りました。

そういった市民の方々の声を聞き、2020年4月から**認知症患者・家族を対象に認知症看護外来**を行う予定でしたが、COVID-19の感染予防のため開催を見合わせています。**今後の動向を見ながら、認知症看護外来の開催時期をお伝えしていきたいと思っています。**

認知症看護外来は、認知症介護に関する相談助言、介護者の精神的サポートを行い、認知症者ができる限り住み慣れた地域の良い環境

で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指した専門外来です。毎月第2木曜日に行い、当院の患者だけでなく、地域住民の方も受け入れています。完全予約制でゆっくりお話が伺えるよう一人60分、一日に5枠にしています。初回のみ診察券発行に220円の費用をいただきますが、2回目以降は完全無料です。(当院の診察券をお持ちの方は、初回も無料です)

認知症看護外来に来てくださる方々のお悩みを少しでも解消できるよう、頑張っていきたいと思えます。

認知症看護認定看護師 藤原 則子

認知症看護外来



認知症かもと不安になったり、認知症介護に悩んでおられますか？
例えば、最近もの忘れが増え心配、被害妄想や徘徊など、認知症に関するお悩みを認知症看護認定看護師がお聞きします。

完全予約制で
ゆっくりお話をうかがいます。



病棟ごとの勉強会 依頼受付中!

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、研修の依頼を受けつけています。
既存のテーマでも、看護で困っていることなどなんでも結構です!

リクエストお待ちしております!



各分野内線番号

救急看護：村上 8863
慢性心不全看護：原谷 8154
感染管理：篠原 8623
皮膚排泄ケア：大西 8397
認知症看護：藤原 8667
集中ケア：堀内 8872





認定看護師の豆知識

パンデミックの終わり方とは

新型コロナウイルスの世界的大流行において、「パンデミック」という言葉が使われていますが、パンデミックとは？終息とは？どのような状態なのでしょう？

1. パンデミックとは？

「パンデミック (Pandemic)」という言葉のもともとの意味は、地理的に広い範囲の世界的流行および、非常に多くの数の感染者や患者が発生する流行を意味します。実際には、WHO フェーズの6をもって、パンデミックということになります。

2. パンデミックの終わり方とは？

歴史学者によるパンデミックの終わり方は2通り

1. 「医学的終息」：罹患率と死亡率が大きく減少して終わる。
2. 「社会的終息」：病気に対する恐怖心が薄れてきて終わる。

パンデミック間期	ヒト感染のリスクは低い	1
動物間に新しい亜型ウイルスが存在するがヒト感染はない	ヒト感染のリスクはより高い	2
パンデミックアラート期 新しい亜型ウイルスによるヒト感染発生	ヒト-ヒト感染は無いが、または極めて限定されている	3
	ヒト-ヒト感染が増加していることの証拠がある	4
	かなりの数のヒト-ヒト感染があることの証拠がある	5
パンデミック期	効率よく持続したヒト-ヒト感染が確立	6

(原文：「世界インフルエンザ事前対策計画 (WHO global influenza preparedness plan)」
http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/phase/en/index.html)

つまり、病気を抑え込むことによって終わりが訪れるのではなく、人々がパニック状態に疲れて、病気とともに生きようになることによっても、パンデミックは終わるということです。

現時点では、新型コロナウイルスの根絶はむずかしく、ワクチンや効果的な治療法は確立されていません。WHO が「日本の自粛」に高い評価を示しているように、**国民の「頑張り」で感染者数は激減し、全国的に緊急事態宣言が解**

除されました。その国民が、第2波、第3波を恐れている一方で、「もううんざりだ、もう普通の生活に戻ってもいいはずだ」という気持ちが抑えられなくなってきています。**「医学的終息」の前に、「社会的終息」を迎えるのかもしれない。**新型コロナウイルスに、どう向き合って、どのような備えをすべきなのか考えさせられます。

救急看護認定看護師 村上 千亜紀

理念と基本方針

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】 JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】 長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】 JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】 藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】 京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】 枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※長尾駅より無料直通シャトルバスを運行しております。

（詳細は当院ホームページをご参照ください）



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<http://kkh-hirakoh.org/>